

ゆっくりと死を想う

# Slow Death Cafe

スロー・デス・カフェ

ちょっと立ち止まって死について思い  
を馳せる時間を持ってみませんか？



日時：平成30年5月13日（日曜日）10:00～13:00

場所：富山電気ビル4F 光の間

定員：50名（先着順）

参加費：500円

主催（公社）富山県薬剤師会

講師：上野宗則



98年より死化粧用品等ご遺体ケアのための商品づくりをはじめ。  
「人の死に立ち会うときなにができるか」をテーマに、医療従事者や葬祭事業者向けの講習会を企画。  
「社会に生きる人々が死を想うきっかけづくりができれば」をモットーに、全国各地で講演活動も行っている。  
著書に『エンゼルケアのエビデンス！？』（sokei パブリッシング）がある。

## スケジュール

10:00～11:00 上野宗則氏の講話

11:00～12:15 グループディスカッション（ワールドカフェ形式）

12:15～13:00 上野宗則氏のみの講話

申込方法：5月7日（月）までにFAXまたはHPよりお申し込みください。

スロー・デス・カフェ 開催にあたり

（公社）富山県薬剤師会 地域医療委員会委員長

見澤 哲郎

皆さん、自分の死や死に方について考えたことがありますか？

「死」は、自分から遠い出来事のように思っていたり、いずれは死が訪れるということを忘れて生活していませんか？

皆さんもご存知のように日本は、世界が、かつて経験したことがない「超高齢化、人口減少、多死社会」を迎えようとしています。その対策として、国は、2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指しており、その中で、在宅医療を担うチームの一員として、薬剤師の活躍に大きな期待が寄せられているところです。在宅で薬剤師が、職能を発揮する機会が増えれば、死を間近に迎える患者さんやその家族と向き合う場面にも数多く遭遇することになるでしょう。そのような時、死生観について考えておくことが、終末期の患者さんやその家族に接する際の「態度」の部分において大切になると思います。

そこで、余命宣告されていなくても、身近な人の死や愛する人の死を経験していなくても ちょっと立ちどまって、甘いスイーツを食べ、ほろ苦いコーヒーでも飲みながら、「死」について思いを馳せる時間を持って頂こうと思ひ、 上野宗則氏を迎えて、「スロー・デス・カフェ」を企画しました。

「スロー・デス・カフェ」が、自己の生に向き合う経験となり、死生観を考えるきっかけになればと思います。是非、ご興味のある方の参加をお待ちしております。

---

## スロー・デス・カフェ（5月13日開催）参加申込書

氏 名 \_\_\_\_\_ 会 員 ・ 非会員 （該当に○をつけて下さい）

勤務先名称 \_\_\_\_\_

提出期限：FAX(076-442-3308)で5月7日（月）までにお申込みください。